

1 中期経営計画の概要

市民に信頼される安全で安心な医療の安定的かつ継続的な提供と、更なる経営改革と経営の健全化を目的に、川崎市総合計画と連携する分野別計画として、また新公立病院改革ガイドライン(総務省)に基づく新公立病院改革プランとして策定。

計画期間は平成28(2016)年度から令和2(2020)年度までの5年間。

(1) 策定方針

新公立病院改革ガイドラインに示された4つの視点を踏まえ方針を策定

【経営の効率化】

- 川崎病院及び多摩病院は計画期間内のすべての年度において経常収支の黒字達成を、井田病院は令和7(2025)年度の黒字化を目指す。

【経営形態の見直し】

- 現状の経営形態により一定程度安定的な運営ができていることから、現在の経営形態を継続する。

【再編・ネットワーク化】

- 経営主体の統合や民間病院との再編統合等を検討しなければならないような状況はないことから、再編・ネットワーク化の取組は行わない。

【地域医療構想を踏まえた役割の明確化】

- 将来不足する病床機能への対応について検討を進める。急変時等の受入れ、在宅医療を担う医療従事者との連携・教育・研修支援等に取り組む。
- 地域包括ケアシステムの構築に向け、地域医療機関や訪問看護ステーション、介護施設等との連携をより一層推進する。
- 政策・不採算医療の提供では、総務省の繰出基準に基づき必要な経費を一般会計が負担することとするが、可能な限り縮減や平準化に努める。

(2) 目標・基本的な施策の方向性

「信頼される市立病院の運営」を目標とし、次の4つの基本方針により個々の取組を推進する。

- 基本方針(1) 誰もが安心して暮らせる医療提供体制づくり
- 基本方針(2) 地域医療連携の推進
- 基本方針(3) 災害に強い病院づくり
- 基本方針(4) 安定的かつ継続的な医療提供体制づくり

(3) 施策体系

取組課題1 医療機能の充実・強化

- 取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化
- 取組項目(2) がん診療機能の強化・拡充
- 取組項目(3) 高度・専門医療の確保・充実
- 取組項目(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進
- 取組項目(5) その他医療提供体制の強化

取組課題2 医療の質と患者サービスの向上

- 取組項目(1) 人材の確保と育成の推進
- 取組項目(2) 医療安全の確保・向上
- 取組項目(3) 患者に優しい病院づくり

取組課題3 強い経営体質への転換

- 取組項目(1) 収入確保に向けた取組の推進
- 取組項目(2) 経費節減に向けた取組の推進
- 取組項目(3) 経営管理体制の強化

(4) 点検・評価

進捗状況や達成状況については、外部有識者や医療関係団体の代表者から構成される川崎市立病院運営委員会において、第三者の立場から客観的な御意見をいただき、毎年度、点検・評価を実施する。

中期経営計画における点検・評価の方法について

(例)

4 具体的な取組

(1) 川崎病院における取組

取組課題 1 医療機能の充実・強化

取組項目(1) 救急・災害医療機能の強化

① 救命救急医療の充実

高齢者の増加に伴い増大する救急需要に対応するため、救命救急医療（三次救急医療）を担う救命救急センターとして「断らない救急」を目指し、救急搬送患者をより効率的に受け入れるよう体制の整備を進めます。

<主な取組>

- ・救命救急センター医師の安定的な確保
- ・救急医をサポートする救急救命士の確保・増員
- ・夜間・休日における緊急MR I 撮影（磁気共鳴コンピューター断層撮影）実施体制の整備

【成果指標】

	平成 26 年度（実績値）	平成 32 年度（目標値）
三次救急搬送患者応需率	97.4 %	98.2 %以上
救急自動車搬送受入台数	7,332 件	7,332 件

② 災害医療機能の維持

災害拠点病院として、災害派遣医療チーム（DMAT）等を保有し、市内外の様々な災害又は事故現場等に医療チーム又は医師を派遣します。また、災害発生時の孤立化（物資供給や電力の途絶など）に備え、必要な食料、飲料水、医薬品の備蓄や、エネルギーセキュリティの向上に取り組みます。

<主な取組>

- ・災害派遣医療チーム等の隊員の維持・確保
- ・備蓄品（食料、飲料水、医薬品）の適切な補充・交換
- ・災害時における情報伝達手段の確保（「かわさき Wi-Fi」整備）
- ・電気設備の浸水対策及び埋設給水管の耐震化

【成果指標】

	平成 26 年度（実績値）	平成 32 年度（目標値）
災害派遣医療チーム等の派遣要請応需率	90 %	90 %以上
食料・飲料水・医薬品の院内備蓄確保量	3 日間分	3 日間分

本委員会では、赤枠部分を報告

●「取組項目」に対する進捗状況指標の基準

進捗状況	説明	評価の目安
I	順調に進捗	取組項目に対する各取組の達成度が平均して「C」を上回る評価であり、各取組の達成度以外の状況も勘案して、目標達成に向けて、「順調に進捗している」と思われるもの
II	一定の進捗がある	取組項目に対する各取組の達成度が平均して「C」程度の評価で構成されており、各取組の達成度以外の状況も勘案して、目標達成に向けて、「一定の進捗がある」と思われるもの
III	進捗が遅れている	取組項目に対する各取組の達成度が平均して「C」を下回る評価であり、各取組の達成度以外の状況も勘案して、目標達成に向けて、「進捗が遅れている」と思われるもの
IV	進捗が大幅に遅れている	取組項目に対する各取組の達成度が平均して「D」を下回るの評価で構成されており、各取組の達成度以外の状況も勘案して、目標達成に向けて、「進捗が大幅に遅れている」と思われるもの

●取組に対する達成度の評価基準

達成度	説明	評価の目安
A	目標を大きく上回って達成	成果指標の評価が平均して「2」を上回る評価であり、成果指標の評価以外の状況も勘案して、「目標を大きく上回って達成」と思われるもの
B	目標を上回って達成	成果指標の評価が平均して「3」を上回る評価であり、成果指標の評価以外の状況も勘案して、「目標を上回って達成」と思われるもの
C	ほぼ目標どおり	成果指標の評価が平均して「3」程度で構成されており、成果指標の評価以外の状況も勘案して、「ほぼ目標どおり」と思われるもの
D	目標を下回った	成果指標の評価が平均して「3」を下回る評価であり、成果指標の評価以外の状況も勘案して、「目標を下回った」と思われるもの
E	目標を大きく下回った	成果指標の評価が平均して「4」を下回る評価であり、成果指標の評価以外の状況も勘案して、「目標を大きく下回った」と思われるもの

●成果指標の評価基準

評価	説明	評価の目安		
1	目標値を大幅に上回った	実績値が大きいほどよい指標の場合	目標値に対して実績値が 110%を超えている	目標値に対して実績値が 90%未満
2	目標値を上回った	実績値が大きいほどよい指標の場合	目標値に対して実績値が 105%を超え110%以内	目標値に対して実績値が 90%以上95%未満
3	目標値を概ね達成した	実績値が大きいほどよい指標の場合	目標値に対して実績値が 95%以上105%以内	目標値に対して実績値が 95%以上105%以内
4	目標値を下回った	実績値が大きいほどよい指標の場合	目標値に対して実績値が 90%以上95%未満	目標値に対して実績値が 105%を超え110%以内
5	目標値を大幅に下回った	実績値が大きいほどよい指標の場合	目標値に対して実績値が 90%未満	目標値に対して実績値が 110%を超えている

2 各年度の点検・評価結果

(1) 川崎病院

ア 「取組」に対する達成度の評価

【達成度】 A：目標を大きく上回って達成
D：目標を下回った

B：目標を上回って達成
E：目標を大きく下回った

C：ほぼ目標どおり

取組課題1

「医療機能の充実・強化」

●計画最終年度（令和2年度）に、
「**A：目標を大きく上回って達成**」又は
「**B：目標を上回って達成**」とした取組は、
「**災害医療機能の維持**」など5つ（全体の約42%）であった。
「**C：ほぼ目標どおり**」とした取組は、
「**救命救急医療の充実**」など2つ（全体の約16%）であった。
「**D：目標を下回った**」又は
「**E：目標を大きく下回った**」とした取組は、
「**小児・周産期医療の確保**」など5つ（全体の約42%）であった。

取組課題2

「医療の質と患者サービスの向上」

●計画最終年度（令和2年度）に、
「**C：ほぼ目標どおり**」とした取組は、
「**医療従事者の確保**」など3つ（全体の60%）であった。
「**D：目標を下回った**」とした取組は、
「**働きやすい職場づくり**」など2つ（全体の40%）であった。

取組課題3

「強い経営体質への転換」

●計画最終年度（令和2年度）に、
「**C：ほぼ目標どおり**」とした取組は、
「**収入確保に向けた取組の推進**」など2つ（全体の約67%）であった。
「**E：目標を大きく下回った**」とした取組は、
「**経費節減に向けた取組の推進**」の1つ（全体の約33%）であった。

取組課題	取組項目	取組	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	
1 医療機能の充実・強化	(1) 救急・災害医療機能の強化	救命救急医療の充実	C	C	C	C	C	
		災害医療機能の維持	B	C	B	B	B	
	(2) がん診療機能の強化・拡充	がん診療機能の強化	C	C	C	C	B	
		(3) 高度・専門医療の確保・充実	小児・周産期医療の確保	C	C	D	E	E
	内視鏡検査・治療の充実		C	C	B	B	D	
	チーム医療の推進		B	C	C	D	E	
	(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進	地域医療連携の推進	B	B	A	A	A	
		地域包括ケアシステムの推進	B	B	B	D	D	
		(5) その他医療提供体制の強化	精神科救急医療の強化	C	D	D	E	D
			感染症医療の確保	C	C	C	B	A
2 サービスの質と患者	(1) 人材の確保と育成の推進	リハビリテーション機能の強化	D	C	C	D	B	
		医療機能再編整備の推進	C	C	C	C	C	
		医療従事者の確保	C	C	C	C	C	
	(2) 医療安全の確保・向上	職員の専門能力の向上	C	C	C	C	C	
		働きやすい職場づくり	D	D	E	D	D	
(3) 患者に優しい病院づくり	医療安全・院内感染対策の推進	C	C	C	C	C		
	積極的な情報発信と相談体制の強化	D	D	C	D	D		
	3 強い経営	収入確保に向けた取組の推進	C	D	C	C	C	
経費節減に向けた取組の推進		D	D	D	C	E		
経営管理体制の強化		D	D	D	C	C		

イ 「取組項目」に対する進捗状況の評価

計画最終年度（令和2年度）の進捗状況別取組項目の内訳は、Ⅰ「順調に進捗」又はⅡ「一定の進捗がある」とした取組項目は7項目（全体の約64%）で、Ⅲ「進捗が遅れている」又はⅣ「進捗が大幅に遅れている」とした取組項目は4項目（全体の約36%）であった。令和2年度は新型コロナウイルスの影響を受け、進捗に遅れが生じた取組項目が増加した。また、経常収支比率は、令和2年度を除き100%を超え、黒字となった。

取組課題	取組項目	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
1 医療機能の充実・強化	(1) 救急・災害医療機能の強化	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
	(2) がん診療機能の強化・拡充	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ
	(3) 高度・専門医療の確保・充実	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅳ
	(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
	(5) その他医療提供体制の強化	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
2 医療の質と患者サービスの向上	(1) 人材の確保と育成の推進	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ
	(2) 医療安全の確保・向上	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
	(3) 患者に優しい病院づくり	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ
3 強い経営体質への転換	(1) 収入確保に向けた取組の推進	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
	(2) 経費節減に向けた取組の推進	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ
	(3) 経営管理体制の強化	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ

【進捗状況】

- Ⅰ：順調に進捗
- Ⅱ：一定の進捗がある
- Ⅲ：進捗が遅れている
- Ⅳ：進捗が大幅に遅れている



進捗状況	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
Ⅰ	1項目 9.1%	—	1項目 9.1%	1項目 9.1%	2項目 18.2%
Ⅱ	7項目 63.6%	9項目 81.8%	7項目 63.6%	8項目 72.7%	5項目 45.5%
Ⅲ	3項目 27.3%	2項目 18.2%	3項目 27.3%	2項目 18.2%	3項目 27.3%
Ⅳ	—	—	—	—	1項目 9.1%

策定方針に掲げた「経営の効率化」の達成状況

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
経常収支比率	103.5%	102.5%	〔目標値〕 102.2%	100.2%	102.9%	103.3%	101.3%	〔目標値〕 104.1%	96.9%

(2) 井田病院

ア 「取組」に対する達成度の評価

【達成度】 A：目標を大きく上回って達成
D：目標を下回った

B：目標を上回って達成
E：目標を大きく下回った

C：ほぼ目標どおり

取組課題1

「医療機能の充実・強化」

●計画最終年度（令和2年度）に、
「A：目標を大きく上回って達成」又は
「B：目標を上回って達成」とした取組は、
「成人疾患医療の充実」など2つ（全体の
20%）であった。
「C：ほぼ目標どおり」とした取組は、
「災害医療機能の維持」など2つ（全体の
20%）であった。
「D：目標を下回った」又は
「E：目標を大きく下回った」とした取組
は、「救急医療の充実」など6つ（全体の
60%）であった。

取組課題2

「医療の質と患者サービスの向上」

●計画最終年度（令和2年度）に、
「C：ほぼ目標どおり」とした取組は、
「医療安全・院内感染対策の推進」など
2つ（全体の40%）であった。
「D：目標を下回った」又は
「E：目標を大きく下回った」とした取組
は、「医療従事者の確保」など3つ（全体
の60%）であった。

取組課題3

「強い経営体質への転換」

●計画最終年度（令和2年度）に、
「C：ほぼ目標どおり」とした取組は、
「経営管理体制の強化」の1つ（全体の約
33%）であった。
「D：目標を下回った」又は
「E：目標を大きく下回った」とした取組
は、「収入確保に向けた取組の推進」など
2つ（全体の約67%）であった。

取組課題	取組項目	取組	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
1 医療機能の充実・強化	(1) 救急・災害医療機能の強化	救急医療（初期・二次）の充実	E	E	E	E	D
		災害医療機能の維持	C	C	C	C	C
	(2) がん診療機能の強化・拡充	地域がん診療連携拠点病院としての機能強化	B	B	B	C	D
		緩和ケアの推進	C	C	D	C	E
	(3) 高度・専門医療の確保・充実	チーム医療の推進	B	C	C	B	C
		成人疾患医療の充実	C	B	A	A	A
	(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進	地域医療連携の推進	B	D	D	D	D
		医療依存度の高い患者に対する在宅医療の提供	C	D	E	E	B
		地域包括ケア病床の整備と運用	C	A	C	C	D
	(5) その他医療提供体制の強化	井田病院再編整備事業の推進	C	C	D	D	D
2 サービスの質と患者の向上	(1) 人材の確保と育成の推進	医療従事者の確保	C	D	E	E	E
		職員の専門能力の向上	C	C	D	E	D
		働きやすい職場づくり	D	C	E	E	D
(2) 医療安全の確保・向上	医療安全・院内感染対策の推進	C	C	C	C	C	
(3) 患者に優しい病院づくり	市民に信頼される医療の提供と分かりやすい情報発信	C	C	C	C	C	
3 強い経営体質への転換	(1) 収入確保に向けた取組の推進	収入確保に向けた取組の推進	D	D	D	C	D
	(2) 経費節減に向けた取組の推進	経費節減に向けた取組の推進	D	D	C	C	E
	(3) 経営管理体制の強化	経営管理体制の強化	D	D	D	C	C

イ 「取組項目」に対する進捗状況の評価

計画最終年度（令和2年度）の進捗状況別取組項目の内訳は、Ⅰ「順調に進捗」又はⅡ「一定の進捗がある」とした取組項目は4項目（全体の約36%）で、Ⅲ「進捗が遅れている」又はⅣ「進捗が大幅に遅れている」とした取組項目は7項目（全体の約64%）であった。令和2年度は新型コロナウイルスの影響を受け、進捗に遅れが生じた取組項目が増加した。また、経常収支比率は、改善傾向だが計画期間の全ての年度で100%を下回り、赤字となった。

取組課題	取組項目	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
1 医療機能の充実・強化	(1) 救急・災害医療機能の強化	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
	(2) がん診療機能の強化・拡充	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅳ
	(3) 高度・専門医療の確保・充実	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
	(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
	(5) その他医療提供体制の強化	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
2 医療の質と患者サービスの向上	(1) 人材の確保と育成の推進	Ⅱ	Ⅱ	Ⅳ	Ⅳ	Ⅳ
	(2) 医療安全の確保・向上	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
	(3) 患者に優しい病院づくり	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
3 強い経営体質への転換	(1) 収入確保に向けた取組の推進	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ
	(2) 経費節減に向けた取組の推進	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅳ
	(3) 経営管理体制の強化	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ

【進捗状況】

- Ⅰ：順調に進捗
- Ⅱ：一定の進捗がある
- Ⅲ：進捗が遅れている
- Ⅳ：進捗が大幅に遅れている



進捗状況	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
Ⅰ	－	－	1項目 9.1%	1項目 9.1%	1項目 9.1%
Ⅱ	7項目 63.6%	7項目 63.6%	4項目 36.4%	5項目 45.5%	3項目 27.3%
Ⅲ	4項目 36.4%	4項目 36.4%	5項目 45.5%	4項目 36.3%	4項目 36.3%
Ⅳ	－	－	1項目 9.1%	1項目 9.1%	3項目 27.3%

策定方針に掲げた「経営の効率化」の達成状況

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
経常収支比率	82.9%	87.3%	〔目標値 92.3%〕 87.5%	89.4%	96.5%	96.7%	〔目標値 97.2%〕 89.6%

(3) 多摩病院

ア 「取組」に対する達成度の評価

取組課題1

「医療機能の充実・強化」

●計画最終年度（令和2年度）に、
「B：目標を上回って達成」とした取組は、「災害医療機能の維持」など2つ（全体の約29%）であった。
「C：ほぼ目標どおり」とした取組は、「地域包括ケアシステムの推進」の1つ（全体の約14%）であった。
「D：目標を下回った」又は「E：目標を大きく下回った」とした取組は、「救急医療の充実」など4つ（全体の約57%）であった。

【達成度】 A：目標を大きく上回って達成
 D：目標を下回った

B：目標を上回って達成
 E：目標を大きく下回った

C：ほぼ目標どおり

取組課題	取組項目	取組	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
1 医療機能の充実・強化	(1) 救急・災害医療機能の強化	救急医療（初期・二次）の充実	B	C	A	A	E
		災害医療機能の維持	B	C	B	A	B
	(2) がん診療機能の強化・拡充	診療機能強化と報告の推進	C	C	C	C	D
		循環器内科における診療の充実	D	C	C	D	E
	(3) 高度・専門医療の確保・充実	脳神経外科における診療の充実	D	D	D	D	E
		地域医療支援病院の運営と強化	C	B	B	B	B
(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進	地域包括ケアシステムの推進	D	B	B	B	C	
	2 医療サービスの質と患者の向上	(1) 人材の確保と育成の推進	医療従事者の確保	A	A	A	A
職員の専門能力の向上			B	A	C	A	A
(2) 医療安全の確保・向上		医療安全の強化	C	C	C	C	C
(3) 患者に優しい病院づくり	分かりやすい情報提供と利用しやすい施設の強化	C	C	C	C	C	
3 強い経営への転換	(1) 収入確保に向けた取組の推進	収入確保に向けた取組の推進	C	B	B	B	C
		経費節減に向けた取組の推進	B	C	C	C	E
	(3) 経営管理体制の強化	経営管理体制の強化	B	B	B	B	B

取組課題2

「医療の質と患者サービスの向上」

●計画最終年度（令和2年度）に、
「A：目標を大きく上回って達成」とした取組は、「医療従事者の確保」など2つ（全体の50%）であった。
「C：ほぼ目標どおり」とした取組は、「医療安全の強化」など2つ（全体の50%）であった。

取組課題3

「強い経営体質への転換」

●計画最終年度（令和2年度）に、
「B：目標を上回った」とした取組は、「経営管理体制の強化」の1つ（全体の約33%）であった。
「C：ほぼ目標どおり」とした取組は、「収入確保に向けた取組の推進」の1つ（全体の約33%）であった。
「E：目標を大きく下回った」とした取組は、「経費節減に向けた取組の推進」の1つ（全体の約33%）であった。

イ 「取組項目」に対する進捗状況の評価

計画最終年度（令和2年度）の進捗状況別取組項目の内訳は、Ⅰ「順調に進捗」又はⅡ「一定の進捗がある」とした取組項目は6項目（全体の60%）で、Ⅲ「進捗が遅れている」又はⅣ「進捗が大幅に遅れている」とした取組項目は4項目（全体の40%）であった。令和2年度は新型コロナウイルスの影響を受け、進捗に遅れが生じた取組項目が増加した。また、経常収支比率（本市病院事業会計）は、計画期間の全ての年度で100%を超え、黒字となった。

取組課題	取組項目	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
1 医療機能の充実・強化	(1) 救急・災害医療機能の強化	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅲ
	(2) がん診療機能の強化・拡充	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ
	(3) 高度・専門医療の確保・充実	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ
	(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進	Ⅲ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
2 医療の質と患者サービスの向上	(1) 人材の確保と育成の推進	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
	(2) 医療安全の確保・向上	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
	(3) 患者に優しい病院づくり	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
3 強い経営体質への転換	(1) 収入確保に向けた取組の推進	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ
	(2) 経費節減に向けた取組の推進	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅳ
	(3) 経営管理体制の強化	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ

【進捗状況】

- Ⅰ：順調に進捗
- Ⅱ：一定の進捗がある
- Ⅲ：進捗が遅れている
- Ⅳ：進捗が大幅に遅れている



進捗状況	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
Ⅰ	2項目 20.0%	4項目 40.0%	5項目 50.0%	5項目 50.0%	3項目 30.0%
Ⅱ	6項目 60.0%	5項目 50.0%	4項目 40.0%	4項目 40.0%	3項目 30.0%
Ⅲ	2項目 20.0%	1項目 10.0%	1項目 10.0%	1項目 10.0%	2項目 20.0%
Ⅳ	-	-	-	-	2項目 20.0%

〔参考〕

策定方針に掲げた「経営の効率化」の達成状況

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
経常収支比率 (本市病院事業会計)	105.2%	106.6%	〔目標値 107.9%〕	106.5%	105.7%	107.7%	107.8%	〔目標値 111.8%〕 108.8%

3 5か年の総括と今後の方向性について

(1) 病院ごとの総括等

ア 川崎病院

- 取組課題1「医療機能の充実・強化」については、「(1) 救急・災害医療機能の強化」など4つ取組項目が進捗したが、「(3) 高度・専門医療の確保・充実」が進捗遅れとなった。
- 取組課題2「医療の質と患者サービスの向上」については、「(2) 医療安全の確保・向上」の取組項目が進捗したが、「(1) 人材の確保と育成の推進」と「(3) 患者に優しい病院づくり」の2つの取組項目で進捗遅れとなった。
- 取組課題3「強い経営体質への転換」については、「(1) 収入確保に向けた取組」など2つの取組項目が進捗したが、「(2) 経費節減に向けた取組の推進」で進捗遅れとなった。

イ 井田病院

- 取組課題1「医療機能の充実・強化」については、「(3) 高度・専門医療の確保・充実」の取組項目が進捗したが、「(1) 救急・災害医療機能の強化」や「(2) がん診療機能の強化・拡充」など4つの取組項目で進捗遅れとなった。
- 取組課題2「医療の質と患者サービスの向上」については、「(2) 医療安全の確保・向上」など2つの取組項目が進捗したが、「(1) 人材の確保と育成の推進」の取組項目で進捗遅れとなった。
- 取組課題3「強い経営体質への転換」については、「(3) 経営管理体制の強化」の取組項目が進捗したが、「(1) 収入確保に向けた取組の推進」と「(2) 経費節減に向けた取組の推進」の2つの取組項目で進捗遅れとなった。

ウ 多摩病院

- 取組課題1「医療機能の充実・強化」については、「(4) 医療機能の分化・強化、連携の推進」の取組項目が進捗したが、「(1) 救急・災害医療機能の強化」や「高度・専門医療の確保・充実」など3つの取組項目で進捗遅れとなった。
- 取組課題2「医療の質と患者サービスの向上」については、「(1) 人材の確保と育成の推進」など3つの取組項目すべてが進捗した。
- 取組課題3「強い経営体質への転換」については、「(1) 収入確保に向けた取組の推進」など2つの取組項目が進捗したが、「(2) 経費節減に向けた取組の推進」の取組項目で進捗遅れとなった。

(2) 全体の総括等

- 市立3病院全体では、全ての取組課題において令和元年度までは多くの取組項目で進捗しており、順調に取組が推進されていた。
- しかしながら、計画最終年度となる令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響（受診控え、コロナ患者受入専用病床確保のための病床の一部休床）による外来・入院患者の減少に伴い、結果的に進捗状況の評価が後退してしまった取組項目があった。
- 一方、新型コロナウイルス感染症への対応では、神奈川モデルの高度医療機関又は重点医療機関として、感染患者受入専用病床の確保・拡充や感染患者の受入れを積極的に行うとともに、感染患者の入院調整を行う市医療調整本部へのDMAT隊員の派遣や、市内高齢者施設に対する感染症出前講座の実施など、公立病院としての役割を果たしてきた。
- 「新公立病院改革ガイドライン」で求められている経常収支の黒字化については、新型コロナウイルス感染症の影響による外来・入院収益の減少等により、令和2年度は市立3病院ともに達成には至らなかったものの、コロナ感染症に関わる補助金収入により、純損益では黒字を達成した。

(3) 外部有識者の意見

- 令和2年度の点検・評価時に、取組全体に関わる御意見をいただいた。
- コロナの影響がある中しっかり対応している病院もあり成果もあげている。
 - 感染症(コロナ患者)を受け入れると様々なところに影響するのは間違いない。
 - 目標値の設定が現実的でないと、現場のモチベーションにはつながらない。
- 【参考】以下は、個々の取組に対する意見だが、他の取組にも関係するもの。
- （取組について）市民の方が、何らかの方法で知ることができるようにする必要がある。

(4) 今後の方向性

- 進捗遅れとなっている取組項目について具体的な対策を講じるとともに、成果指標の見直しの必要性について検討する。
- 進捗した取組項目の振り返りを行い、継続推進に向け取組内容等を精査する。
- ウィズ・コロナや働き方改革等を踏まえた医療提供体制の確保、新興感染症や洪水・浸水対策・ICT化など新たな課題への対応を進める。
- 併せて、地域に必要な医療を安定的・継続的に提供できるよう、引き続き、経営基盤の強化に向けた取組を推進する。